



日本共産党市議団 新年度予算要望を市長に提出

8月13日、日本共産党愛西市議団（河合克平、真野和久）と愛西市委員会（加藤敏彦委員長、古川智康政策委員長）は、来年度予算に向けた要望書を日永市長に提出しました。

財源不足を理由に、年々削減されている市民サービスを充実させることを求める12ページ約280項目の予算要望です。毎年値上げがされる国民健康保険税では、稲沢市などのように18歳未満の家族の減免を求めています。

また、7月から紙面が一新された『広報あいさい』は、月間の情報が掲載されていたカレンダーの復活を求めました。



会派政策懇談会は、市議会各会派が提出した主な施策提案について、懇談を行うもので、毎年行われています。
8月13日、日本共産党愛西市議団は、事前に提案した3項目について、市長と懇談を行いました。
今年度は、以下の3点について提案しました。
①基金運用損失問題について、第三者による検証委員会を設置すること。
②公共施設総合管理計画の見直し。部署任せにしない計画的な施設の整備・更新を行うこと。
③道の駅周辺整備工事を一旦ストップし、あり方を見直すこと。管理運営費

日本共産党市議団、市長と政策懇談 公共施設の総合的な老朽化対策を （市）「廃止計画の具体化を始める」と回答

用の縮減。

①市「第三者検証委員会の設置しない」

市は、「公金管理委員会ですっかり検証した。結果に基づき粛々と対応する。第三者委員会は設置しない。市長や職員間の連携が取れていなかった問題は是正する。専門家による職員研修も行う」と回答。

市議団の「公金管理委員会の検証では、公金の考え方についての反省が見られない」との質問には「そうした事も含め研修をおこなう」との回答でした。

市長「学校の改修、財源が不足すれば基金の現金化を行う」

市議団の「学校な改修などで現金が不足するような場合は損失を出しても現金化するか」との質問に、市長は、「不足すれば基金の現金化を行う」と答えました。

②市「老朽化が進む施設の廃止を進める」

市は、「点検や指針に基づいて対応している。老朽化が進む施設については、集約化、複合化なども検討し、廃止を進める。庁内でそのロードマップを作る」と回答。施設管理計画では、具体化していなかった防災「コミュニティセンターや公民館、立田、佐織地区の体育館などの公共施設の廃止が現実のものとなってきました。」

②市「工事中止には違約金など負担が発生する」

市は、「工事を中断すれば、資材などの損害で違約金が発生する。指定管理の変更についてもそうだ」と工事を止めるつもりはないことを回答。

市議団の「完成後の維持管理費用削減の検討は必要では」との質問には、「（他の施設でも）年々負担が増加している指定管理費の見直しは必要」と回答しました。

〈愛西市平和祈念式〉 戦後80年 戦争体験の継承を願う

8月8日、愛西市文化会館ホールで、令和7年度愛西市平和祈念式が行われました。

戦争の遺族を始め、平和を願う市民が式典に参加しました。式典では「愛西市非核平和都市宣言」を唱和し、折り鶴を捧げました。

第2部では、昨年の非核平和広島派遣事業に参加した永和中学校と立田中学校の卒業生が、体験の作文を披露しました。

また、被爆体験伝承講話では、「私の家族の被爆体験」という題で伝承者の倉田直子氏が講話を行いました。

